

Japan Open 2019 ルール

■個人戦

<計測競技>

① 30 秒かけあしとび

- ・ 内容
30 秒間でかけ足とびを何回跳べるかを競う。右足が地面についた回数を記録とする。
- ・ コール
開始合図「Judges ready? Skippers ready? Set」の次のブザー音
途中経過「10. 20.」
終了合図「ブザー音」
- ・ 不正スタート(フライング)
「Set」から開始のブザーまでは身体もロープも動かさないこと。
ブザー前にロープを回し始めたり、明らかにジャンプに関連するような動きがあったりした場合には、不正スタートとなり、合計跳躍回数から 5 回をマイナスする。
- ・ エリア違反
競技中に競技エリアから足が外に踏み出ている間はカウントしない。
ロープだけが外に出ている場合は違反ではない。
ヘッドジャッジは、選手が時間内に競技エリアから外に出た時は、速やかにエリア内へ戻るよう に指示する。戻るまではカウントしない(団体戦で既に跳躍を終えた選手やこれから跳躍する選手も含む)
- ・ ロープ破損によるやり直し
競技中にロープが破損した場合(ロープが切れた、グリップが壊れた、ロープがグリップからは ずれたなど)、再競技が 1 度だけ認められる。再競技を行う場合、記録は再競技のものを採用する。競技を中断せず、破損した状態で競技を続け、競技終了後に再競技を行うかどうかを決めて も構わない。再競技を行う場合、最低 5 分、時間を空けてから行うものとする。ただしジャッジ の過半数が故意によるロープ破壊だと判断した場合、再競技は認めない。

② 30 秒二重とび

- ・ 内容
30 秒間で前回しの 2 重とびが何回跳べるかを競う。
- ・ コール
開始合図「Judges ready? Skippers ready? Set」の次のブザー音
途中経過「10. 20.」

終了合図「Stop.」

- ・ 不正スタート(フライング)
30秒かけあしとびの不正スタートと同様。
- ・ エリア違反
30秒スピードの「エリア違反」と同じ。
- ・ ロープ破損によるやり直し
30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じ。

③ 30秒リリース

- ・ 内容
空中でロープを一回転以上回転させ、リリースキャッチをして前とびをするまでの回数を競う。グリップを取れず落としてしまった場合、落ちたグリップを地面から拾った場合、あるいは前とびをしなかった場合など、失敗とみなされたものは回数に含まれない。
- ・ コール
開始合図「Judges ready? Skippers ready? Set」の次のブザー音
途中経過「10. 20.」
終了合図「Stop.」
- ・ 不正スタート(フライング)
30秒かけあしとびの不正スタートと同様。
- ・ エリア違反
30秒スピードの「エリア違反」と同じ。
- ・ ロープ破損によるやり直し
30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じ。

④ 二重とび(時間無制限)

- ・ 内容
時間無制限で前回しの二重とびを引かかるもしくはやめるまでに跳んだ回数を競う。
- ・ コール
なし。各エリアの審判の合図で競技開始。引かかるもしくはやめた場合に競技終了。
- ・ 不正スタート
審判の合図後 10秒以内に二重とびを始めなかった場合、不正スタートとなり、合計跳躍回数から 5回をマイナスする。

- ・ エリア違反
30秒スピードの「エリア違反」と同じ。
- ・ ロープ破損によるやり直し
30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じ。
- ・ その他
二重とびを始める前に、予備跳躍を行っても良い。

⑤ 三重とび(時間無制限)

- ・ 内容
時間無制限で前回しの三重とびを引っかかるもしくはやめるまでに跳んだ回数を競う。
- ・ コール
なし。各エリアの審判の合図で競技開始。引っかかるもしくはやめた場合に競技終了。
- ・ 不正スタート
審判の合図後 10 秒以内に三重とびを始めなかった場合、不正スタートとなり、合計跳躍回数から 5 回をマイナスする。
- ・ エリア違反
30秒スピードの「エリア違反」と同じ。
- ・ ロープ破損によるやり直し
30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じ。
- ・ その他
三重とびを始める前に、予備跳躍を行っても良い。

<自由演技種目>

⑥ 個人自由演技

45～60 秒で自由にシングルロープの演技をし、技術力や構成力を競う。

各項目 10 点満点、計 50 点満点(ペア自由演技・チーム自由演技は 60 点満点)で評価。

評価項目は以下の 5 つで、項目の合計点が高い選手から上位になる。

✓ 音楽との調和

曲のリズムやアクセントを上手に使えているかを評価。演技全体で音楽を有効に使えているかを評価する。音がない場合はゼロ点。

✓ 技術力

技の難易度、技術的な熟練度、身体の動かし方や滑らかさを評価。技レベルだけでなく、技術的な高さと余裕を評価する。

✓ 表現力

演技中の観客へのアピールとコミュニケーションを評価。技に集中するだけでなく、観客を楽しませようとする意識や動きへのこだわりを評価する。

✓ 構成力

演技のツカミ、盛り上がり、ポーズなどの組み立て方を評価。単調にならずに技を組み合わせられているかを評価する。

✓ オリジナリティ

他の選手との相対的な違い、個性を評価。技の難易度に限らず、新しいトリックや新たな動きなどを評価する。

✓ 技の多様性(ペア自由演技・チーム自由演技でのみ適用)

様々な技や様々な縄跳び(シングルロープ、ダブルダッチ、2in1、チャイニーズホイール、長縄など)がある中で、どれだけ多くの技・縄跳びを行ったかを評価する。

※危険な演技

ジャッジの半数が怪我をする恐れがあり、危険な技をしたと判定した場合は失格となる

※演技のやり直し

演技中のロープの破損は、10分以上の時間を開けた後1度だけ再演技ができる

※演技中の服装や装飾品

演技の支障のない範囲での衣装は認める。ただし医療用を除くアクセサリは禁止

■ 団体戦

< 計測種目 >

- ① 30秒ダブルダッチシングルスピード
 - ・ 内容

ターナー2名、ジャンパー1名で、30秒間、ダブルダッチロープの中でかけ足とびが何回とべるかを競う。右足が地面についた回数を記録とする。

- ・ コール

開始合図「Judges ready? Skippers ready? Set」の次のブザー音

途中経過「10. 20.」

終了合図「Stop.」

- ・ 不正スタート(フライング)

30秒かけあしとびの不正スタートと同様。

- ・ エリア違反

30秒スピードの「エリア違反」と同じ。

- ・ ロープ破損によるやり直し

30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じ。

② シングルロープスピードリレー(30秒×4名)

- ・ 内容

4名の選手で、30秒間ずつ、前あやとび、前かけあしとび、前二重とび、後ろかけあしとびを順番に行う。前あやとびは前跳びを跳んでから交差跳びを跳んだ回数をカウントする。前かけあしとび、後ろかけあしとびは右足が地面についた回数をカウントする。前二重とびは両足が地面についた回数をカウントし、4名の合計回数を記録とする。30秒毎の「ブザー音」を合図に交代が行われる。「ブザー音」が聞こえてから次の選手が跳び始めるまでカウントは行わない。

- ・ 順番

最初の選手が最初の30秒間前回のあやとびを跳躍。30秒後に「ブザー音」が鳴ったら最初の選手は跳躍を止め、2番目の選手が前かけあしとびを始める。同様に3番目(前二重とび)、4番目(後ろかけあしとび)とチェンジしていく。注) 4名の選手はすべて異なる選手であること

- ・ コール

開始合図「Judges ready? Skippers ready? Set」の次のブザー音

途中経過「10. 20.」

交代合図「ブザー音」

終了合図「ブザー音」

- ・ 不正スタート(フライング)

- ・ 30秒かけあしとびの不正スタートと同様であるが、それに加えて、「ブザー音」前に次の選手の手や足、ロープが動いたら不正スタートとなり5回マイナス。交代による休止はなし。

- ・ エリア違反
30秒スピードの「エリア違反」と同じ。
- ・ ロープ破損によるやり直し
30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じであるが、スピードリレーで既に跳躍を終えた選手やこれから跳躍する選手も、このルールが適用される。

③ 30 秒二人とび

- ・ 内容
2名の選手で、1本の縄で30秒間行う。
0～10秒…2in2(グリップを1人1つずつ持ち、2人同時に跳ぶ)
10～20秒…2in1(グリップを1人1つずつ持ち、片方の人のみ跳ぶ)
20～30秒…トラベラー(1人がロープを持ち、もう片方の人と一緒に跳ぶ)
それぞれの跳び方を行うときの人の配置は自由で、動画の通りである必要はない。
このように、10秒ごとに跳び方を変化させて行い、これらの合計回数を競う。10秒毎の「10.20.」を合図に交代が行われる。「ブザー音」が聞こえてからは、次の跳び方を始めるまでカウントは行わない。
- ・ コール
開始合図「Judges ready? Skippers ready? Set」の次のブザー音
交代合図「10. 20.」
終了合図「ブザー音」
- ・ 不正スタート(フライング)
30秒かけあしとびの不正スタートと同様であるが、それに加えて、「ブザー音」前に次の選手の手や足、ロープが動いたら不正スタートとなり5回マイナス。
- ・ エリア違反
30秒スピードの「エリア違反」と同じ。
- ・ ロープ破損によるやり直し
30秒スピードの「ロープ破損によるやり直し」と同じである。

<自由演技種目>

④ ペア自由演技

45～60秒で自由に様々な縄跳び(シングルロープや2in1、チャイニーズホイールなど)の演技を2人で行い、技術力や構成力を競う。ルールについては個人自由演技を参照。

⑤ チーム自由演技

60～150 秒で様々な縄跳び(シングルロープやダブルダッチ、チャイニーズホイール、長縄など)を組み合わせ、自由なとび方で演技をし、技術力や構成力を競う。人数は3人以上。ルールについては個人自由演技を参照。昨年度のダブルダッチ自由演技のような、ダブルダッチのみの演技もこの種目に該当する。